

令和元年度進行管理・評価シート
竹田市歴史的風致維持向上計画（平成26年6月23日認定）
（最終変更平成29年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 計画推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 建物修景補助事業	3
2 旧竹屋書店保存修理事業	4
3 吉川家住宅保存修理事業	5
4 史跡岡城跡保存整備事業	6
5 西光寺境内保存修理事業	7
6 電線類無電柱化事業	8
7 道路美装化事業	9
8 城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業	10
9 歴史資料館等公開活用整備事業	11
10 城下町回遊館整備事業	12
11 竹田荘公園等整備事業	13
12 風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)	14
13 駐車場整備事業	15
14 城下町路地裏整備事業	16
15 城下町老朽危険空き家等除却促進事業	17
16 城下町空き家・空き店舗再生促進事業	18
17 城下町案内ガイド養成事業	19
18 城下町・岡城跡歴史学習事業	20
19 城下町案内マップ等制作事業	21
20 城下町移住定住支援事業	22
21 城下町・岡城跡回遊促進事業	23
22 民俗芸能等支援事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理に関する事項	25
2 文化財の保存又は活用に関する事項	26
3 文化財の周辺環境の保全に関する事項	27
4 文化財の防災に関する事項	28
5 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項	29
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 城下町の歴史文化拠点施設の整備について	30
2 城下町の景観保全について	31
3 伝統文化の継承について	32
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 計画認定による観光客数の推移について	33
□法定協議会等におけるコメント(様式4)	34

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
計画推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本計画の推進体制については、まちづくり部局の建設課、文化財保護部局のまちづくり文化財課が計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織されている「城下町再生プロジェクト庁内会議」を計画推進のための庁内の連絡・調整を行う。歴史まちづくり法第11条に基づき設置した「竹田市歴史的風致維持向上協議会」は、事務局と連携し、計画の実施に関する連絡・調整を行う。また、必要に応じて文化財・都市計画・景観等に関連する委員会等に協議を行い、指導・助言を得る。また、文化財の所有者・管理者や文化財等の保存・活用を行う市民や関係団体との連絡・調整及び支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

竹田市歴史的風致維持向上協議会を1回開催した。協議会では、H30年度の事業概要、R1年度以降の事業計画について協議を行った。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も協議会を開催し、事業の進捗状況の確認、今後の事業推進について意見を伺う。

状況を示す写真や資料等



第5回竹田市歴史的風致維持向上協議会の様子(R1.5.27)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

景観計画における歴史的風致維持向上に関する事項

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

本市は、大分県南西部に位置し、市の中心部は江戸時代には岡藩7万石の城下町として栄え、古くから奥豊後の政治・文化・経済・交通の拠点である。山城であった岡城跡の麓には、今なお旧藩時代の城下町の面影を残す武家屋敷や寺社が立ち並び、独特の風情が感じられる。平成の合併以前の旧竹田市においては、昭和54年に「伝統的文化都市環境保存地区整備事業計画」、平成13年に「竹田区域まちなみ環境整備方針」を策定し、城下町としての伝統と歴史的景観を生かしたまちづくりを行ってきた。

平成17年4月1日に、旧竹田市と旧直入郡荻町、久住町、直入町が合併して新しい竹田市が誕生したことで、本市は、城下町の景観以外にも牧草地や温泉街等、魅力的で多様な景観を持つ町となった。

しかしその一方で、幹線道路沿いの看板の乱立、伝統的なまちなみの喪失、山林や農地の荒廃など、景観を阻害する動きも少なくなく、新たなまちづくりの柱の一つとなる景観形成の必要性が高まってきた。

このような背景のもと、新市としての景観形成のビジョンを再構築するため、平成27年度に竹田市景観計画を策定した。竹田市景観計画は、本市における良好な景観形成に関する理念や、景観計画の区域、景観形成の方針、届出を要する建築行為等の基本事項をまとめたもので、個性ある美しいまちづくり及び歴史的風致に配慮したまちづくりを進めるための計画である。

個性ある自然景観、歴史・文化の景観、くらしの景観が市全域に広がっていることから、市全域を景観計画区域とし景観形成を行う。また、岡城、城下町、それらの周辺地域は、史跡等環境保存条例により、これまで歴史的文化遗产の保存が重点的に取り組まれてきており、竹田市歴史的風致維持向上計画においても重点区域としている。このため、本計画においても「景観形成重点地区(地区名は城下町地区とする)」として位置づけ、より詳細な景観誘導を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は景観計画区域の届け出が54件あった。申請内容については建築物や工作物の修景などであった。色彩等について調整することで城下町地区や岡城周辺の歴史的風致にあったまちなみを維持することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

景観条例、景観計画遵守の徹底を行う。

状況を示す写真や資料等

令和元年度竹田市景観計画区域内行為の届出

行為の種類	件数
建築物の建築等	18
工作物の新設等	21
開発行為	1
土地の形質変更等	11
木竹の伐採	3
物件の堆積等	0

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
建物修景補助事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成13年度～令和5年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・建物修景事業(単独)

計画に記載している内容
 竹田城下町地区における民家や店舗の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で屋根・外構等の建物修景を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行う場合に、経費の一部について補助を行う。
 竹田城下町の町割りは、城下町が形成された400年前の町割りがほぼそのまま引き継がれてきたものであり、往時の生活空間や情感を体感できる箇所が点在している。本事業による建物修景等を行うことで、建物と城下町のさらなる調和が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年に城下町である中心市街地内に計画された東西南北に縦横断する都市計画道路を廃止し、400年続く町割り、景観、風致を活かしたまちづくりを強化した。近年では、旧都市計画道路沿線地域から「まちづくり協定」を締結する地区が出てきており、建物修景事業の要望・着手が行われるようになっている。

令和元年度建物修景事業:11件実施

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	近年では、旧都市計画道路沿線地域から「まちづくり協定」を締結する地区が出てきており、建物修景事業の要望・着手が行われるようになっているため、事業期間を延長し、事業推進を図っていく。

状況を示す写真や資料等

建物修景事業(寺町 土塀修景)

修景前



修景後



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧竹屋書店保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 明治32年に建造された旧竹屋書店(登録有形文化財:佐藤家住宅)の店舗兼主屋・土蔵について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、地場産品の販売や休憩施設として活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物の所有者との保存修理に関する意見交換及びスケジュール調整を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	建物の老朽化が進展しているため、令和2年度の修理着手に向けて、確実に所有者との調整を図っていく。 計画期間の変更を行い事業完了に向けての取り組みを行う。

状況を示す写真や資料等



旧竹屋書店現況

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
吉川家住宅保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・補修工事(単独)

計画に記載している内容 大正11年に建造された吉川家住宅(登録有形文化財)の主屋・土蔵・倉庫について、公開活用を図るため、屋根・外壁・内装等の保存修理工事を「竹田地区街並み形成景観・修景ガイドライン」に沿って行い、観光案内や休憩施設として活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存修理工事の完了している倉庫一で現在染物屋の工房として活用し、公開活用を実施している。近年では、まち歩きのポイントの一つとして定着、来訪者が増加している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	主屋及び倉庫一については、整備は完了しているが、歴史的風致の維持向上を図るため、倉庫二・三の活用方針を方向付けし、保存修理工事に向けた取り組みを進めるため、事業期間を延長する必要がある。

状況を示す写真や資料等



吉川家住宅倉庫一活用状況

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度								
項目		現在の状況									
史跡岡城跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手									
事業期間	昭和63年度～令和5年度										
支援事業名	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金・文化資源活用事業費補助金										
計画に記載している内容	文禄3年(1594)の初代藩主中川秀成の入部後、造営が着手された岡城跡は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な公開活用を促進するための環境整備を行う。										
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で											
獣害により被害を受けた西の丸東門及び中川但見屋敷入口葺石の保存修理、排水溝確認のための発掘調査を実施し、修復現場及び発掘調査現場を公開し、説明会を実施した。また、岡城跡の魅力発信のため、AR技術を用いた疑似的な建物復元や城内の解説について4か国語(日本語・英語・中国語・韓国語)での音声解説の導入し、多国籍化する来場者に対し充実した解説をこなうことができるようになった。岡城の魅力の本質である石垣の景観整備として、支障木の伐採を昨年に引き続き実施した。岡城跡の魅力向上の各事業実施により、平成28年の熊本地震の影響で減少していた入場者数も震災以前の水準まで回復した。											
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)									
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		令和元年度に策定を行った岡城跡保存活用計画に基づき、保存・整備・活用の取組みを推進する。									
状況を示す写真や資料等											
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">西の丸東門葺石整備工事(左:施工前 右:施工後)</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center; margin: 10px 0;">  <div style="margin: 0 10px;">↓</div>  </div> <p style="text-align: center;">岡城跡景観整備事業(上:実施前 下:実施後) ※支障木伐採により石垣が見えるようになった。</p>											
岡城跡年度別入城者数 (H21～R1) (人)											
年 度	H21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1
入場者数	85,990	71,042	67,130	76,148	68,326	76,941	75,344	53,481	59,834	60,000	74,384
備 考						計画認定		熊本地震			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
西光寺境内保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～30年度

支援事業名 大分県文化財保存事業費補助金・竹田市文化財保存事業費補助金

計画に記載している内容 岡藩主中川家とかかわりの深い西光寺は、経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で、保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための御成門及び本堂の保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

保存修理(H28～H30)は完了したが、公開活用を展開していく必要がある。令和元年度は、所有者、市、消防団が連携し防火訓練を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当該建築物の公開活用を図るとともに、まち歩きのポイントとして他施設との連携を図っていく。

状況を示す写真や資料等



防火訓練の様子(R2.1.26)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
道路美装化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成13年度～令和5年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(H26～R1)、社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)(H27～)		
計画に記載している内容	竹田城下町の良好な景観形成を推進するため、市道本町八幡川・府内町・代官町・向丁・横町線を対象に、城下町全体の周辺の景観に調和した舗装整備を行うため、測量設計及びカラー舗装工事を実施する。 竹田城下町は、多数の指定文化財等が集積するなど多くの歴史的遺産が残されている。本事業を実施し、城下町一円の道路美装化を行うことで、道路景観の改善を図るとともに、こうした歴史的遺産を城下町の情景に合った道路整備を行うことで、城下町のまちなみの連続性の保全が図られ、歴史的風致の維持・向上に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は5路線6ヶ所の道路美装を実施した。 市道駅前線 L=84.5m、市道代官町町線 L=70.8m、市道古町構口線 L=74.3m、市道本町屏風ヶ淵線 106.3m市道駅前線 L=199m(無電柱化に伴う道路美装化)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も計画に沿った事業実施を行う予定であり、事業期間の延長が必要である。		

状況を示す写真や資料等

道路美装化

美装化(駅前線)



美装化(代官町線)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
電線類無電柱化事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 市道本町通線及び駅前線では、歩行に支障をきたしている電線類等を無電柱化し、歩行空間と景観形成を行い、歩いて楽しい道路を整備する。また、メインストリートとして、再整備し、城下町の拠点の一つである中心市街地の賑わいを取り戻すため、測量設計・舗装整備・電線類無電柱化工事・歩道整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本町通電線共同溝(約400m)、駅前電線共同溝(約400m)の工事が完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

無電柱化後の、通りのありかた(歩いて楽しめるまちづくり)について検討を進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



無電柱化実施前(下本町)



無電柱化実施後(下本町)

評価軸③-8 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	街路灯・案内看板・道路標識等を統一した色合いやデザインにすることにより、城下町の景観形成の向上を図るため、街路灯等基本計画・街路灯等撤去・設置を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
電線類無電柱化区間の街路灯整備を実施した。また、統一したデザインの案内板(サイン表示)の設置を行った。 案内板設置:歩行者誘導サイン12基、車両誘導サイン5基、総合案内サイン4基			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	無電柱化路線についての街路灯整備は完了したが、他路線の街路灯の整備について検討する必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
街路灯設置状況			
			
案内板設置状況(歩行者誘導サイン)			

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度	
項目		現在の状況		
歴史資料館等公開活用整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手		
事業期間	平成26年度～令和元年度			
支援事業名	社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)			
計画に記載している内容	歴史資料館で保管、保有する貴重な資料の整理を行い、図書館と併せて歴史的文化的遺産の集約的な分類整理を行い、未整理資料の調査研究を効率的に行うとともに、公開活用を図っていく。またその一環として、文化・情報・生涯学習の拠点及び城下町の中核施設として位置づけられている竹田市立歴史資料館(昭和55年建設)及び竹田市立図書館(昭和35年建設)の再整備を行う。また、岡城跡や城下町に関する総合的な情報提供を行うガイダンス機能を備えた文化観光拠点施設としても整備を実施し、主要観光施設である岡城跡と城下町をつなぎ、岡城跡を訪れる来訪者を城下町へ誘う役割を担う。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
竹田市歴史文化館の建設を実施(R1年完成、R2年開館予定)。また、本市の文化行政の拠点となる竹田総合文化ホールも竣工(平成30年10月7日開館)し、H30年度大分県で開催された国民文化祭では様々な文化行事の会場として活用された。H29に開館した新市立図書館は、旧図書館時代の約2倍の利用者数を維持している。				
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		本市の文化行政の拠点施設となる新市立図書館、竹田市歴史文化館、竹田総合文ホール及び竹田市城下町交流プラザについて、密接に関係する4施設の連携した運営を目指し進めていく。		
状況を示す写真や資料等				
				
建設が完了した竹田市歴史文化館(令和2年度10月開館予定)				
				
竹田市歴史文化館 岡城ガイダンスセンター		竹田市歴史文化館 収蔵庫		
市立図書館利用実績				
年度	H27	H28	H29	H30
利用人数	38,023	32,011	66,342	72,973
備考	旧図書館	旧図書館	新図書館開館	

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
城下町回遊館整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)・発掘調査(単独)

計画に記載している内容 城下町の中心部に位置した場所に、城下町を訪れる来訪者の為の案内施設及び地域住民の文化拠点施設とし、誰もが気軽に訪れ交流を深めることができ、中心市街地の賑わいを創出できるような施設整備を行う。整備については、公有財産購入・発掘調査・地積調査・基本及び実施設計・本体工事及び来訪者用駐車場を用地取得・区画線工事・車止めなどを整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

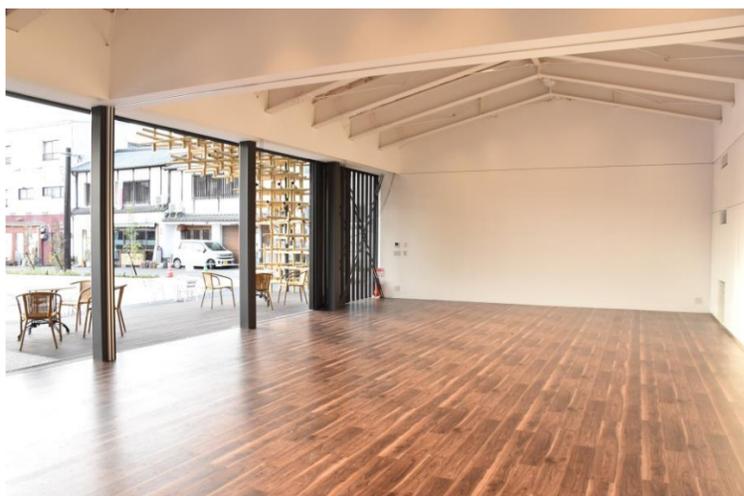
竹田市城下町交流プラザ建設工事が完了した。(令和2年4月のオープン)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	新市立図書館・竹田市歴史文化館・竹田市総合文化ホールとの連携した運営を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



完成した城下町交流プラザ



城下町交流プラザ 多目的ホール



城下町交流プラザ コミュニティールーム

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
竹田荘公園等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 地域住民・来訪者にとって憩いの場である竹田荘公園(昭和62年整備)及び稲葉川やすらぎ公園(平成14年整備)は、休憩施設及び遊具等が老朽化しており、再整備が必要となっている。基本構想・実施設計・植栽舗装工事・遊具休憩施設の整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

樹木により景観を著しく阻害していた竹田荘公園の支障樹木の伐採、剪定作業を実施し、利用しやすい公園を目指して整備を行った。老朽化した、やすらぎ公園の外周柵(擬木柵: L=126m)、危険なブロック塀であった竹田荘公園の外周壁をフェンスへの付替え(フェンス:24m)を行った。また、運動公園、竹田荘公園の老朽化したブランコの補修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

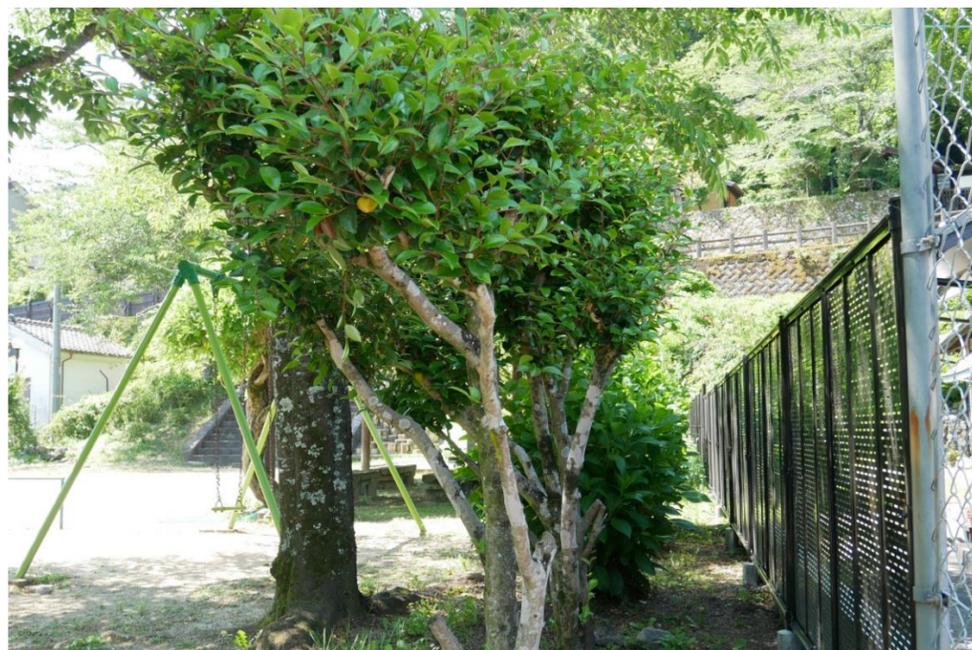
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

園路整備等未実施の事業があるため、事業期間の延長が必要である。また、竹田荘公園は、竹田市歴史文化館、旧竹田荘との連携が必要である。

状況を示す写真や資料等



補修したブランコ(総合運動公園)



危険なブロック塀を除去しフェンスを設置した竹田荘公園

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
風景に根ざしたやすらげる公園整備事業(ポケットパーク整備)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

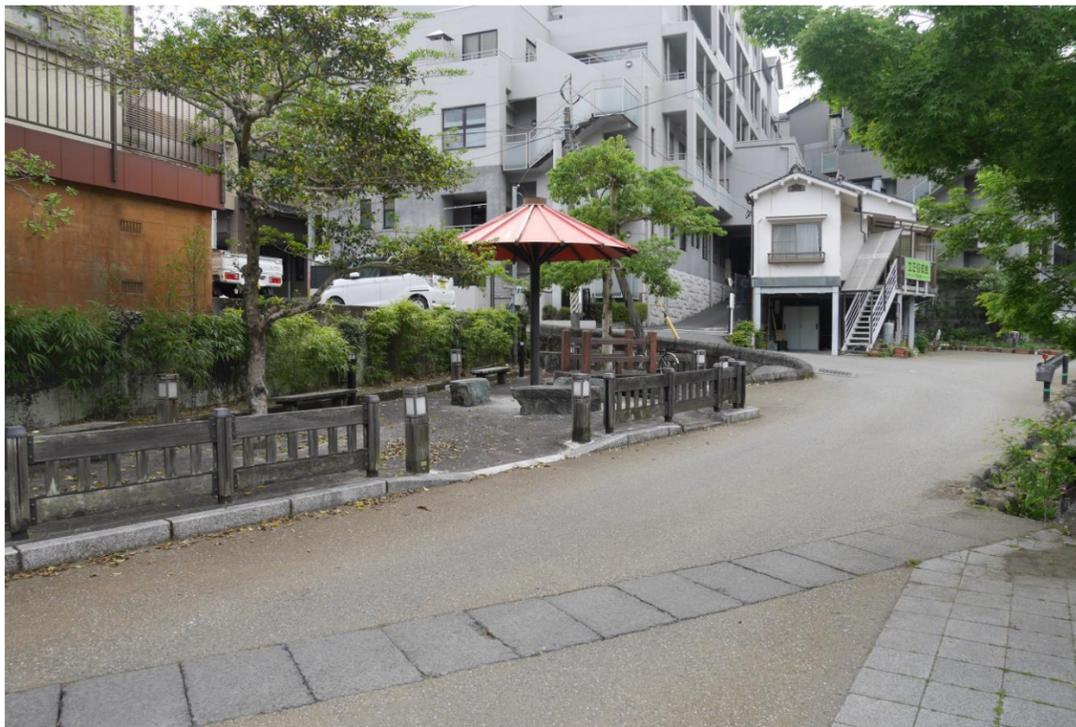
計画に記載している内容 歩いて楽しい城下町を目指し、空き家や空き地を活用し、子どもたちが安心安全に遊べ、地域住民・来訪者が憩えるポケットパークを整備するため、植栽・舗装工・遊具・休憩施設の設置を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事業推進は行っており、対象となる空き地等を検討中。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ポケットパークの設置場所は、城下町回遊の主要ルート上(空き地があっても、通行の少ない場所では事業効果が少ない)での設置が望ましいことから、設置場所の設定にあたっては、住民及び関係機関と協議を行い決定し、事業期間を延長して実施する。

状況を示す写真や資料等



既存のポケットパーク(慶順町)



既存のポケットパーク(寺町:瀧廉太郎記念館前)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
駐車場整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 来訪者のために、城下町における駐車場配置計画及び実施設計・駐車場整備工事を行い、城下町の快適性・景観形成に配慮し、地域住民・来訪者等の満足度の向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市営ふれあい駐車場の再整備を実施した。昨年度に引き続き、中心市街地の駐車場の現状と今後の方向性及び城下町における効率、効果的な車輛の誘導について検討を進めてきた。また、完成した施設(竹田市歴史文化館・竹田市城下町交流プラザ)との連動について併せて検討を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

駐車場設置について、限られた空き地を効率よく使用するために、ポケットパーク設置等の他の事業推進と連携し、計画を進めてきた。また、新規整備施設(竹田市歴史文化館・竹田市城下町交流プラザ)の駐車場整備も含めて計画を推進するため事業期間延長が必要である。。

状況を示す写真や資料等



城下町交流プラザ駐車場

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
城下町路地裏整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 民地等を活用し、敷地の所有者が、歴史的建造物等の特性を活かしたまちづくり協定を締結した上で道路美装化等を行う場合に、経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

対象となる裏路地候補地について事業実施の可能性について、検討を進めてきた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	回遊性を重視した事業であるが、個人所有の敷地等を利用するため、十分に住民との意見調整を図り、事業実施箇所の特定を進め、事業期間を延長し実施する。

状況を示す写真や資料等



裏路地整備の例

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
城下町老朽危険空き家等除却促進事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(竹田地区都市再生整備計画事業) 市単独

計画に記載している内容 城下町の良好な景観形成の促進及び住環境の改善を図ることを目的に、使用されず適切に管理されていない老朽危険建物の除却に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は8件(重点区域内5件)の老朽危険家屋除去を実施、安全な景観保全するとともに、城下町の景観風致の向上を図ることができた。今後も、必要に応じ実施していく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

街並み景観や歴史的風致の維持向上に直接的に関係する事業であり、事業期間を延長し積極的な取組を行っていく。

状況を示す写真や資料等

実施場所:新町通

撤去前



撤去後



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
城下町空き家・空き店舗再生促進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 単独事業

計画に記載している内容 空き家や空き店舗の有効活用をととして、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図ることを目的に、再生に必要な改修等に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、9件実施。(9件開業、5件廃業)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	継続的な取組みと、まちの賑わい創出に向けた商店街や地域の連携を図りつつ進めていく。また、事業期間を延長し、地域の活性化及び良好な景観形成の促進を図る必要がある。

状況を示す写真や資料等



空き店舗を利用し開業した和食料理店

城下町空き店舗数推移

年度	H26	H28	H29	H30	R1	R1
空き店舗数	45	-	42	42	43	39

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
城下町案内ガイド養成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光ボランティアガイド・岡城子どもガイド・岡城楽しみ隊などの案内ガイドで城下町や岡城跡を案内する団体に対し、統一した内容で案内を実施できるようにガイド研修や案内テキスト等を作成するなど、必要な支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「岡城たのしみ隊」及び「岡城武者揃」等の団体の活動に対し支援を行った。岡城子どもガイドの育成(1名、ガイド実習年6回・ガイド研修年2回)を実施した。こうした取り組みにより、市民参加を図るとともに、岡城跡や城下町への来訪者増加に寄与できている。
 岡城子どもガイド実績 ガイド総数16名(H25～R1)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	児童数の減少により、岡城子どもガイド希望者の減少が懸念されることから、学校現場との連携など募集内容の見直しを進めていく。また、岡城子どもガイドと岡城楽しみ隊との連携を行い、効率の良いガイド育成を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



岡城子どもガイド認定式の様子



観光客へ説明を行う岡城子どもガイド

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
城下町・岡城跡歴史学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 竹田市内の文化財を中心とする文化財の視察、調査研究、学習による文化財理解を通して文化財愛護の啓発を行う文化財市民講座、歴史資料館や市立図書館に收藏される古文書の読み下しを行う古文書解読講座、古文書を整理分類し基礎知識を学ぶ古文書実践講座などの充実を図る。また、各種講演会(由学館セミナー等)を実施し市民を対象としたに郷土学習の機会を設ける。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 主な開催した講演会・講座事業
- ・ 瀧廉太郎生誕140周年記念事業 (R1.8.24 参加者集約530名)
 - ・ 第16回由学館セミナー「入山公と大船山」(R1.8.11 参加者集約80名)
 - ・ 岡城跡発掘調査現場説明会 (R2.2.23 参加者数70名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も市民を対象とした、各種講演会や講座を計画的・継続的に開催していく。

状況を示す写真や資料等



第16回由学館セミナー「入山公と大船山」



岡城跡発掘調査現場説明会の様子

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
城下町案内マップ等制作事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和5年度		
支援事業名	単独事業		
計画に記載している内容	城下町を訪れる来訪者に対し、回遊ルートや文化財などの情報をわかりやすく解説したパンフレットを作成し配布する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
城下町を訪れる観光客に対し、案内マップや各種パンフレットを配布し情報提供を行うことで、効率よく城下町の散策が可能となり、回遊性の向上につながった。令和元年度は、各種の案内マップ等への城下町内の新たな施設(竹田市歴史文化館、竹田市城下町プラザなど)を記載し内容の充実を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		来訪者からの意見収集等を実施し、必要なパンフレット及び案内マップを作成する。	

状況を示す写真や資料等



内容の充実を図った案内マップ

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
城下町移住定住支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～R5年度

支援事業名 単独事業

計画に記載している内容 城下町で様々な文化活動の担い手を一定期間招聘し、移住を視野に入れた創作活動の場を提供する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

台湾で活躍する竹工芸家・陳詠笙氏が約3ヵ月竹田市に滞在し、インキュベーション型工房・竹田総合学院TSGを制作拠点として、市内で活動する竹工芸家との技術交流を行った。日本独自の竹の加工技術の理解、現地の竹を使った竹工芸の制作を行いながら、地元作家とのつながりを深めた。
 また、竹田市ゆかりの南画家・田能村竹田が追求した山水画を基軸とした中国人アーティストによるレジデンスの可能性調査として、一般社団法人令和日中文化芸術交流協会所属の中国人アーティスト等による現地視察を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度は民間主体によるイギリス人アーティストのレジデンス企画も予定されている。新型コロナウイルスの影響を注視しつつ、官民双方で協力し合いながら、外国人も含めた多様なアーティストのレジデンスを通じて文化交流を行い、関係人口を創出していく。

状況を示す写真や資料等



中国人アーティストによる現地視察の様子

評価軸③-21 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度																		
項目		現在の状況																			
城下町・岡城跡回遊促進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手																			
事業期間	平成26年度～令和5年度																				
支援事業名	市単独事業																				
計画に記載している内容	城下町と岡城跡を回遊する周遊自動車等やレンタル自転車等の交通手段を構築することにより、高齢者や身障者の来訪者に対し優しい回遊ルートを構築する。																				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																					
「岡城登城バス」の運行及びレンタル自転車の貸し出しを行った。 令和元年度登城バス利用実績 延べ 4,041名(R2.3末) 令和元年度レンタル自転車利用実績 504台(R2.3末)																					
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		岡城登城バスやレンタル自転車の活用は浸透しつつあるが、高齢者等の移動手段として周遊バスの運行などが必要であることから、岡城跡から城下町への相互の移動手段に係る手法構築の検討を進めていく。																			
状況を示す写真や資料等																					
<h3>岡城登城バス運行実績</h3> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行日数(日)</td> <td>121</td> <td>49</td> <td>56</td> <td>70</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>6204</td> <td>3013</td> <td>4295</td> <td>3933</td> <td>4041</td> </tr> </tbody> </table>					H27	H28	H29	H30	R1	運行日数(日)	121	49	56	70	78	利用者数(人)	6204	3013	4295	3933	4041
	H27	H28	H29	H30	R1																
運行日数(日)	121	49	56	70	78																
利用者数(人)	6204	3013	4295	3933	4041																
																					
<p>岡城登城バス</p>																					

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
民俗芸能等支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成15年度～令和5年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 竹田市内で伝承活動を行う民俗芸能保持団体に対し、用具の整備や担い手の育成に対する支援及び調査や記録保持(記録映像撮影等)を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、次代の担い手の育成のため、子供神楽等の団体へ助成(令和元年度 3団体)を行ったほか、コミュニティー助成事業を活用し民俗芸能や伝統行事の用具整備(令和元年度1件)を実施した。こうした支援により、伝統芸能継承意識・意欲の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も継続して伝承活動に必要な用具等の整備を行う必要がある。

状況を示す写真や資料等



助成事業により整備した、神楽衣装を用いて伝統芸能の継承を実施

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財の修理や整備について、有識者に指導・助言を仰いで実施している。また、文化財の修理や整備にあたっては、文献等の史料に基づいて歴史の真正性を担保とした修理・整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡岡城跡保存修理工事を実施した。(P5に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

獣害により破損した岡城跡西の丸階段葺石の保存修理を実施した。今後も文化財の保存修理を進めていくとともに、合せて公開活用を図っていく。

状況を示す写真や資料等



岡城跡保存修理工事の様子

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存又は活用に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 資料の保管・公開を行う施設の老朽化が進んでいるため、施設の整備を行う。また、登録有形文化財等の歴史的建造物の公開活用を図る。また、岡城跡や旧竹田荘等の本市の観光の中心となる文化財施設を回遊するルートの歩道や駐車場の整備、案内板・説明版による情報発信の実施及び、これらの整備に加えて観光案内や休息施設を備えた施設を設置、城下町から岡城跡へのアクセス方法の整備を行い観光客が訪れやすい環境づくりを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

建物修景補助事業(P3に記載) 吉川家住宅保存修理事業(P5に記載) 史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載)
 歴史資料館等公開活用事業(P11記載) 城下町・岡城跡回遊促進事業(P23記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

完成した竹田市歴史文化館は岡城跡のガイダンス機能を持つことから、城下町と岡城跡を繋ぐ手法の検討構築を図っていく。

状況を示す写真や資料等



支障木を伐採した岡城跡大手門付近(右:伐採前・左:伐採後)



完成した竹田市歴史文化館

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の周辺環境の保全に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。また、道路の美装化、排水路の整備、街路灯や案内板等のデザインについて、文化財及び周辺環境と調和に配慮し実施する。また、過疎高齢化により城下町内の空き家・空き店舗等が発生している。老朽建物の除却及び空き家・空き店舗の有効活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

道路美装化事業(P9に記載) 城下町老朽危険空き家等除去事業(P17に記載) 城下町観光案内・道路標識・街路灯整備事業(P10に記載) 城下町空き家・空き店舗再生促進事業(P18に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も、竹田市景観条例及び竹田市景観計画に基づき区域内の環境保全に努める。

状況を示す写真や資料等



城下町総合案内板(竹田市歴史文化館 駐車場)



街路灯整備(左整備前・右整備後:下本町通り)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の防災に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 消防本部や警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るよう努める。また、文化財の所有者や管理者等に対し防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。さらには竹田市地域防災計画に記載された、有事の際の文化財保護に関する連絡体制の確認を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

地元自治会・消防本部・消防団と共同で、文化財防火デーに合わせ火災防護訓練を実施した。
 令和元年度: 令和2年1月26日 西光寺

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

防犯・防災意識の向上を図るための連携及び訓練等の開催を継続的に行っていく。

状況を示す写真や資料等



西光寺での防火訓練の様子(R2.1.26)

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する事項		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 市民ボランティアガイドによる案内や竹田市立歴史資料館での常設展示・企画展示・各種講座をつうじて地域の歴史・文化の啓発活動を実施している。また、歴史文化に関する講演会や先人顕彰活動の拠点施設整備を行うとともに、住民や観光客が手軽に情報を得ることができる案内パンフレットの作成や観光案内施設を設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡岡城跡保存整備事業(P6に記載) 歴史資料館等公開活用整備事業(P11に記載) 城下町ガイド養成事業(P19に記載)
 城下町・岡城跡歴史学習事業(P20に記載) 城下町案内マップ等制作事業(P21に記載)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

完成した岡城跡ARアプリや竹田市歴史文化館を有効活用し、歴史・文化の啓発、向上を図っていく。

状況を示す写真や資料等



AR(拡張現実)技術を活用し、復元した岡城本丸三重櫓



岡城跡発掘調査現場説明会の様子

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和元年度 掲載紙等
城下町交流プラザ工事の安全を願う 竹田で起工式	2019.5.16	大分合同新聞
キリシタン研究所・資料館 来館者1万人突破	2019.5.22	大分合同新聞
竹田市立図書館 日本建築学会作品選奨に 町に溶け込み、空間に多様性	2019.6.8	大分合同新聞
「開館が楽しみ」竹田市歴史文化館で高校生がワークショップ	2019.10.29	大分合同新聞
10万人突破 竹田市総合文化ホール入館者	2019.10.29	大分合同新聞
竹田城下町を活性化 歴文化館・交流プラザ 約11.2億円かけ完成	2020.3.17	大分建設新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
歴史・文化・情報・生涯学習の拠点施設を城下町再生の中核施設として再整備を実施した。市立図書館(平成29年開館)、竹田キリシタン研究所・資料館(平成29年開館)、竹田総合文化ホール(平成30年開館)、城下町プラザ(令和元年度完成、令和2年開館)、竹田市歴史文化館(令和元年度完成、令和2年開館予定)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	城下町再生の拠点施設の整備について、報道関係への周知を図っていく。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑤-2 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	評価対象年度 令和元年度 掲載紙等
竹田城下町の情感生かしたまちづくり 下本町通り会大臣表彰	2019.6.25	大分合同新聞
竹田の下本町通り会国土交通大臣表彰 城下町の景観を維持	2019.6.26	朝日新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
地域住民による歴史的な町並み保全の取組みが評価された。また、電線類無電柱化事業や街並み環境整備事業の取組みにより、城下町の景観維持が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	今後も城下町の景観保全を官民一体で推進していく。	
状況を示す写真や資料等		

評価軸⑤-3 効果・影響等に関する報道		
報道等タイトル	年月日	令和元年度 掲載紙等
連夜、練習に熱 あす「竹田夏越祭」 地域に元気！よっちよくれ	2019.7.20	大分合同新聞
担い手府市区伝統文化が存続の危機 九重高原農業高生11人獅子舞継承	2019.10.11	大分合同新聞
地域の文化を受け継ぐ ふるさと学習発表会 竹田市都野小	2020.1.12	大分合同新聞
竹田菅生小児童が禰野神楽 感謝を込めて「舞い納め」 これからも伝統守る	2020.2.20	大分合同新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
伝統芸能、伝統行事の継承が図られた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	伝統芸能、伝統行事の継承を図るため、後継者育成のための支援を行う。	
状況を示す写真や資料等		

項目

計画認定による観光客数の推移について

計画に記載している内容

来訪者など多くの人々に歴史的町並みや歴史的道筋を回遊させることにより、歴史や文化を活かした観光振興に繋げていく。このため、積極的な情報発信や周辺景観に配慮した案内標識、歴史・文化遺産の説明板、駐車場等の整備を行い、『歩けるまち』、『歩きたくなるまち』の実践構築を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

平成29年度より工事を進めている歴史資料館の来館者数を計上できないが、平成28年の熊本地震以降大幅に減少した観光客数は、着実に回復傾向にある。

また、平成29年度のキリシタン研究所、平成30年度の新市立図書館、竹田市総合文化ホールの開館、令和元年度には竹田市歴史文化館、竹田市城下町交流プラザが完成したことにより、城下町及びその周辺の観光施設等の整備が完了し観光客数の更なる増加が見込める。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

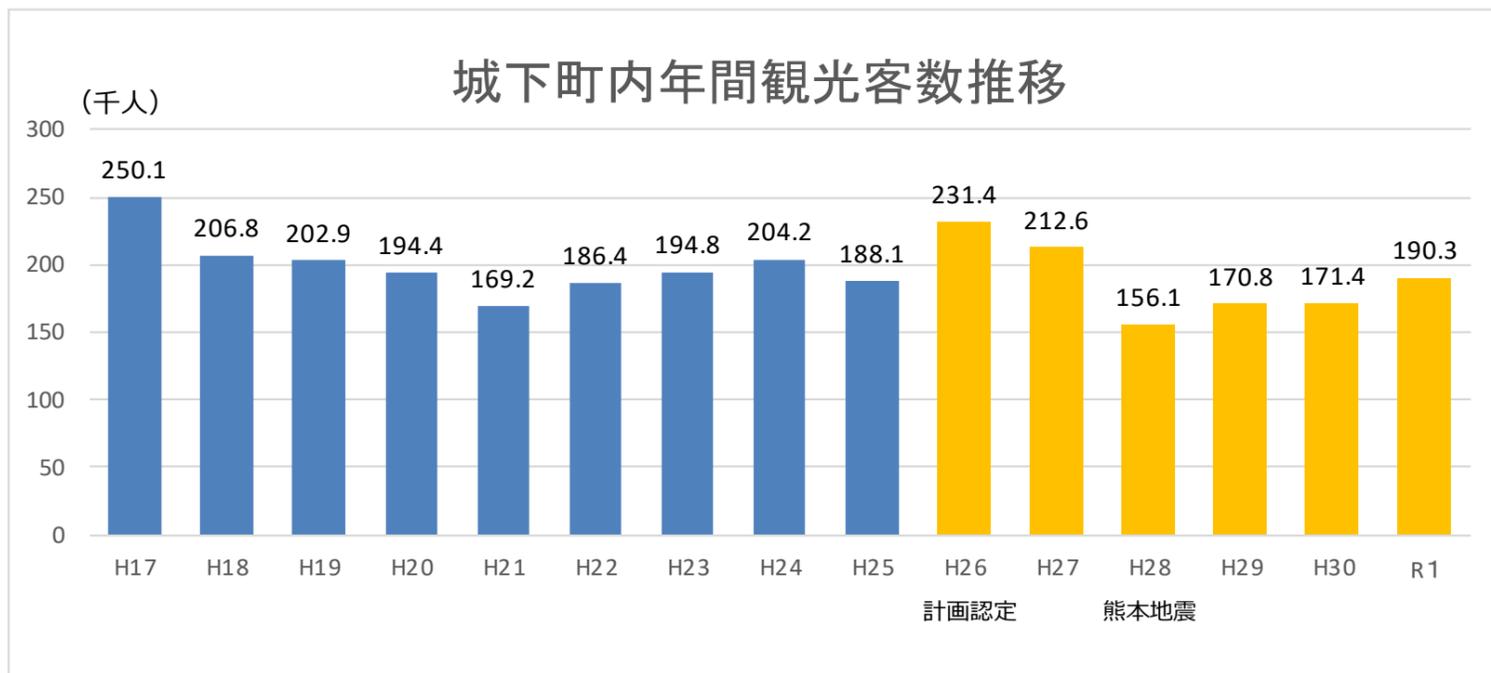
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

平成28年の熊本地震により落ち込んだ観光客数は回復しつつある。令和2年度に開館する竹田市歴史文化館、竹田市城下町プラザなどの新たな城下町施設を有効的に巡る取組みを行う必要がある。。

状況を示す写真や資料等



完成した竹田市歴史文化館(左)と竹田市城下町交流プラザ(右)



城下町内6観光施設(花水月、瀧廉太郎記念館、旧竹田荘、岡城跡、佐藤義美記念館、歴史資料館)の年間入場者数 ※歴史資料館は建設中のため令和元年度は休館中

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 竹田市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 令和2年5月に書面会議にて開催	
(コメントの概要)	
<p>竹田市歴史的風致維持向上計画進捗評価について</p> <p>委員からの主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な事業展開がされており、概ね計画どおり進捗していると評価できる。 ・施設の整備及び管理に関する事項について、計画どおり進捗していないと評価している計画があるが、そもそも計画に無理があるのではないか。 ・老朽家屋の除去後、駐車場や空き地となり大きな空間が目立つようになってきている。今後も家屋解体が進む傾向が続くと推察されるため、緑化等の空き地対策が必要ではないか。 ・街路灯整備が通りごとに異なっており、住民意見・第三者の意見を聞き「竹田らしさ」を追及してほしい。 ・無電柱化について、完了となっているが、今後未実施の通りについて、計画を立て段階的に整備を進めていくべきではないか。 ・令和元年度で、ハード事業についてほぼ完了を見ているが、今後有効的な活用を図る必要がある。 ・令和2年度について、新型コロナの影響により事業進捗に深刻な影響を与えることが予想される。計画推進に遅延等が発生した場合の対応を検討するべきである。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり進捗していない事業の計画内容の再検討を行う。 ・完了したハード整備の活用を図るため、ソフト事業の充実に努める。 ・今後も住民意見を取り入れ、完了した事業についても必要であれば再計画を立て実施を検討する。 ・新型コロナ関連での事業推進遅れが生じないよう、関係団体、関係部署と連携強化を行う。また、遅れが生じた場合は、計画内容の見直し等を行う。 	